



令和元年(2019年)
11月12日
火曜日
先勝

新宮城跡で盛大に祝う

水野家入部400年記念事業「水野家と新宮城下町」(同実行委員会主催)が10日、新宮城跡であった。時代衣装を身に着けた新宮水野家ゆかりのある人たちを中心とした一行が、熊野速玉大社を出発し、新宮城跡を登る「新宮城入場ウオーク」にはじまり、新宮城跡でのステージイベントでは「正調新宮節」の舞踊や愛知県刈谷市の演武隊の「刈谷城盛上げ隊」、広島県安芸高田市の羽佐竹神楽団による、ひろしま安芸高田神楽「八岐大蛇」(やまたのおろち)が披露され、来場者を楽しませた。

水野家入部400年記念

新宮城は、熊野川河口に築かれた紀州藩新宮領の統治拠点。1619年、それまでの領主浅野家の広島県三原への移封にともない、水野家が紀州藩主・徳川頼宣の附家老として新宮入りした。以降、明治維新まで水野家が10代にわたって新宮を治めていた。

水野家にゆかりのある同宗家20代当主の水野勝之さん、新宮水野家末裔(まつえい)のモニカ・水野・ペロイターさん、同末裔の健・ヨアヒム・ペロイターさんら総勢約30人と一般参加の一行が熊野速玉大社を出発。時代衣装に身を



水野家ゆかりの人たちが時代衣装で入城

包んだ行列に道行く人も目を奪われていた。新宮城跡に入城すると、和傘で彩られた石段をゆっくと登り、鐘ノ丸広場に到着。

オープニングセレモニーで田岡実千年実行委員長(新宮市長)が「昨日、本日と2日間にあたり、水野家入部400年という大きな節目に記念事業

各地の芸能披露に歓声



盛大に餅・お菓子まきが行われた

を開催している。大勢の方に尽力いただき、天気にも恵まれ実施できることを、ありがたく思っております。ただいまよりスタートします」とあいさつし、イベントの幕を開けた。特設ステージでは新宮市の踊り団体が「正調新宮節」を舞い、オープニングを飾った。水野家と縁のある広島県三原市、福山市や愛知県刈谷市、11年前に姉妹都市を締結した宮城県名取市の関係者らが入部400年に祝いの言葉を贈った。次いで、三原市と交流のある安芸高田市の羽佐

最後に特設ステージ上から盛大に餅・お菓子まきが行われ、参加者が餅やお菓子に手を伸ばし、「こっち、こっち」「こっちにも」と威勢のいい声が飛び交い、にぎわった。(茂村振五)

貸し布団 承ります
掛、敷、枕セツト

一例	2~5組	(1日1組当たりの金額です)
1泊	1,928円	
2泊	1,746円	
29泊	340円	

お気軽にお電話下さい。
丹鶴介護 サービスセンター
株式会社 桐本商店
新宮市仲之町3-1-5
TEL.0735(22)2205

発行所 **紀南新聞社**
〒647-0043 和歌山県新宮市緑ヶ丘 2丁目1番33号
購読に関するお問い合わせ TEL0735-22-4646